

経営比較分析表（平成28年度決算）

岐阜県 土岐市

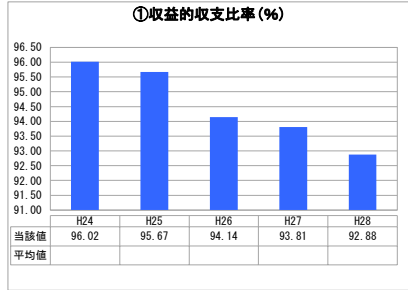
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	84.16	76.17	3,240

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
59,479	116.02	512.66
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
49,834	17.48	2,850.92

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



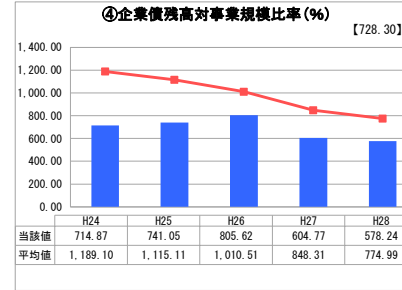
「単年度の収支」



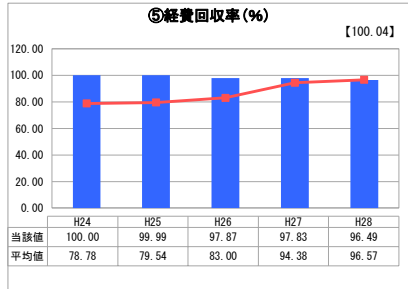
「累積欠損」



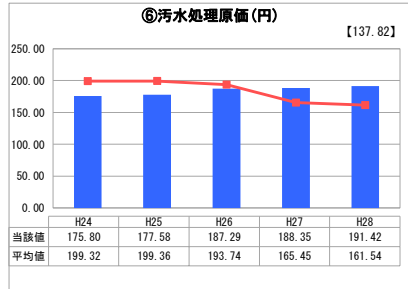
「支払能力」



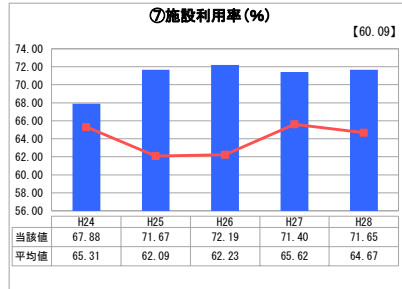
「債務残高」



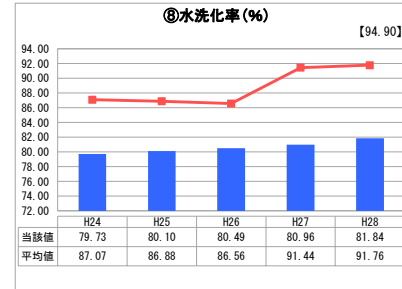
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

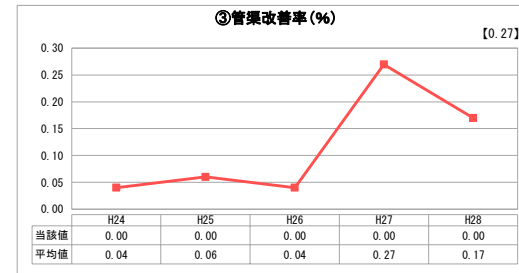
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

公共下水道の面整備がほぼ完了し、今後は建設から維持管理中心の経営にシフトする。建設事業債残高は平成11年度をピークに年々減少し、公債費の負担は軽くなってきている一方で、処理場改築更新工事に本格的に着手したことにより、施設の改築更新に係る費用は増大する傾向にある。改築更新計画を的確に策定するなど、維持管理費用をいかに抑えていくかが今後の課題となる。

土岐市の⑧水洗化率は類似団体平均値より低いが、微増している。類似団体平均値は平成27年度に急増しているように見えるが、平成26年度と平成27年度では、類似団体の区分が異なるからである。土岐市は平均より低いので、今後も引き続き水洗化率向上のための広報活動を行うとともに、業務の効率化とコスト削減を行い、⑤⑥⑦の指標の改善につなげていく。

2. 老朽化の状況について

指標がないため老朽化の状況は不明であるが、管渠長寿命化計画策定の過程で、平成27年度から管路内のテレビカメラ調査に着手している。調査の結果から緊急に修繕が必要な箇所を洗い出し、優先度の高い箇所から順次修繕を行っていく。今後は、管路施設・処理施設とともにストックマネジメント計画を策定し、計画的な更新を行っていく。

全体総括

建設開始年度が昭和48年度であり、管渠施設で最古のものは平成30年度に46年目を迎える。管渠長寿命化計画を平成29年度に策定し、働いている管渠を緊急性の高い物から順次更新していく。また、使用料収入の増加を目指し水洗化率向上のための広報活動を行うなど、施設利用率を高める方策を講じて効率的な運営を進めていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。